



# 報復攻撃による国土の焦土化 戦争ではなく平和の準備こそ

## 「日本を守る」ためか

志位氏は、首相は敵意地、「南西地域の防衛体制の強化」を強調していると指摘。市議会が昨年12月に採択した意見書で「自ら戦争状態を引き起し、よりな反撃能力をもつ長射程ミサイルを石垣島に配備する」と記しておらず、先制攻撃の戦争であっても、自衛隊は米軍と融合し、敵基地攻撃を加えることになると指摘。

「その結果は、相手國の報復攻撃による国土の焦土化だと繰り返しました。

志位氏は、安保の文書が

### 沖縄・石垣市講会の意見書

「自ら戦争状態を引き起こすような反撃能力をもつ長射程ミサイルを石垣島に配備することは到底容認することはできない」

大軍拡の最前線に立たされようとしている沖縄では強い批判があがっており、石垣市議会が昨年12月に採択した意見書で「自ら戦争状態を引き起し、よりな反撃能力をもつ長射程ミサイルを石垣島に配備する」と記しておらず、「自ら戦争状態を引き起し、よりな反撃能力をもつ長射程ミサイルを石垣島に配備する」とはできない」と批判したと指摘。「沖縄の声をひき受け止めるのをすれば、戦争になる確率が大きい。平和を準備した方がいい」などと語ったことを示しえませんでした。

志位氏は「九条の念」呼

回を重ねて主張しました。

### 加藤周一さんの発言

2005年11月27日

「戦争の準備をすれば、戦争になる確率が大きい。もし平和を望むなら戦争を準備せよ」とではない。平和を望むならば、平和を準備した方がいい。戦争を準備しないほうがいいです。準備は、容易に本当の戦争の方へ近づいていく」（シンポジウム「自民党改造案は日本をどこに導くか」）

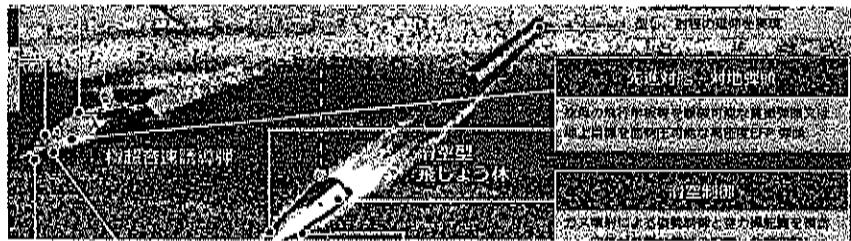
田政権の大軍拡計画の撤

# 米と一体 先制攻撃に

導入するスタンド・オフ・ミサイル  
(長射程ミサイル)

<b>F2式地対艦誘導弾能力向上型</b> 射程を従来型の200kmから 1000km以上延伸。地上だけでなく 艦船、戦闘機にも配備。(開発中)	
<b>高速滑空弾</b> 迎撃困難な高高度を極超音速で 消滅し、落下・対地攻撃(捕獲中) 射程は2000km!	
<b>機超音速誘導弾</b> スクラム・ジェットエンジンを搭載。 マッハ5以上の速度で飛行、迎撃困難に (開発中) 射程は3000km!	
<b>トーホーク</b> イラク、アフガニスタンなど米の 先制攻撃戦争で繰り返し使用。 射程は1600km以上(米から購入)	

極超音速誘導弾の性能(防衛省防衛庁の資料から)



相手国に「脅威」を与える兵器  
地域の緊張と対立激化させる

## 長射程ミサイル保有

米軍が保有する長射程ミサイルの中でも、最も注目されるのがF2式地対艦誘導弾能力向上型だ。射程を従来型の200kmから1000km以上延伸。地上だけでなく艦船、戦闘機にも配備される。一方で、高速滑空弾は、迎撃困難な高高度を極超音速で消滅し、落下・対地攻撃(捕獲中)射程は2000km! また、機超音速誘導弾はスクラム・ジェットエンジンを搭載。マッハ5以上の速度で飛行、迎撃困難に(開発中) 射程は3000km! さらに、トーホークはイラク、アフガニスタンなど米の先制攻撃戦争で繰り返し使用。射程は1600km以上(米から購入)。

同盟国に「融合」を求める米国  
自衛隊の「独立した行動」ない

## AMD

同盟国に「融合」を求める米国  
自衛隊の「独立した行動」ない

米・インド太平洋軍 | AMD構想2028

- ・攻勢対航空作戦の攻撃目標ミサイル・サイト、飛行場、指揮統制機能、インフラストラクチャー
- ・敵の航空機やミサイルを隠避・飛行の前と後の双方において破壊または無力化する
- ・攻撃対航空作戦は先制的にも対処的にもなる

# 敵基地攻撃能力 志位委員長の追及

日本は既存の防空網を強化する一方で、敵基地攻撃能力を確立する方針だ。志位委員長は、この方針を支持する立場だ。

米・印度太平洋軍 | AMD構想2028

- ・インド太平洋軍の広大な管轄では、同盟国や友好国が絶対に必要
- ・同盟国と「ワイド・バイ・サイド融合」ではなく、シームレスな融合をすべてのプレイヤー、コーゲが、同じフレーブックを持ち、一緒に訓練し、作戦を実行。敵からは一つのチームとみられる